

雨天時の事故を防ごう！

冠水道路での危険

県内の冠水しやすい場所も知っておこう。

- 水深が床面を超えると自動スライドドアやパワーウィンドウが作動しなくなる。エンジンやモーターが停止し、再始動しなくなる。
- タイヤが完全に水没すると車体が浮いて移動が困難になるおそれがある。

冠水による危険を避けるためのポイント

- よく利用するルートに、アンダーパスや周囲より低い場所があるかを確認しておく。
- 天気予報などで気象情報を確認することを習慣づける。
- 万一の場合の備え、緊急脱出用ハンマーやシートベルトカッターを常備しておく。

万が一、車両が冠水にはまってしまったら！

まず、落ち着いて！

- シートベルを外し、窓を開けて脱出、シートベルトが外れないときはシートベルトカッターなどで切断、窓が開かないときは、水面より上のドアガラス又はリアガラスをハンマーなどで割って脱出する。
- 水圧でドアが開かないときは、内側と外側の水の高さが同じになるまで待つことで内側からドアが開くようになるのでドアを開け脱出する。
- 水がひいてもすぐにエンジンをかけない。発火するおそれがあります。

雨の日は、速度 **1割** ダウン 車間 **2倍**

● 雨の降りはじめは特に注意

雨の降り始めは摩擦係数が急激に低下 雨で柔らかくなった路面の泥やホコリがタイヤで練られてペースト状になり、滑りやすくなるためです。

● 夏用タイヤへの交換を

スタッドレスタイヤは、雪どけ水を取り除くための吸水機能により、排水性が悪くなり、雨の道路では大変滑りやすく危険です。グリップ力を高めるための柔らかいゴムも水圧に負けて変形しやすくなります。

